

「海外における高等教育に関する動向」（平成21年7月分）

日本学術振興会

【目次】

1. 米国 P 1
 - 1-1. 連邦政府や全国的な大学団体等に関するもの（ワシントン研究連絡センター）
 - ① 高等教育政策
 - ② 高等教育の現状
 - ③ 大学運営
 - 1-2. 主として州政府や個別の大学に関するもの（サンフランシスコ研究連絡センター）
 - ① 新聞報道等
2. ドイツ（ボン研究連絡センター） P 6
 - ① 連邦教育研究省（BMBF）の動向
 - ② ドイツ学術交流会（DAAD）の動向
 - ③ ドイツ大学長会議（HRK）の動向
 - ④ その他大学等の動向
3. 英国（ロンドン研究連絡センター） P 11
 - ① ビジネス・イノベーション・技能省（BIS）の動向
 - ② イングランド高等教育財政会議（HEFCE）の動向
 - ③ 英国大学協会（UUK：Universities UK）の動向
 - ④ 英国の新聞等報道（2009年6月21日～7月20日）
4. フランス（ストラスブール研究連絡センター） P 18
 - ① フランス高等教育の動向
5. 中国（北京研究連絡センター） P 19
 - ① 中国政府の高等教育政策の動向
 - ② 中国の主要大学の動向（主として大学のHPから）
 - ③ メディア（インターネット）による報道
 - ④ メディア（新聞）による報道

1. 米国

1-1. 連邦政府や全国的な大学団体等に関するもの

① 高等教育政策

●学生ローンシステム改定

7月1日、収入ベース返済（Income-Based Repayment: IBR）プランと呼ばれる新しい学生ローン返済プランが導入された。これは、収入に対して学生ローンの負債額が大きい卒業生に適用され、月収の15%を超えない範囲内での返済を求めるもので、すでに連邦政府から学生ローンを借り入れている卒業生にも適用される。また、25年間にわたり同プランに基づき返済を行った場合は、負債残額（利息分も含む）の返済は免除となる。その他、看護、法律、NPOなどの公益分野に勤める者については、10年間当該分野での勤務を行った場合、学生ローン返済は免除されることが発表された。

また、連邦政府が貸与するスタフォード・ローン（Stafford Loan）については、7月1日付けで金利を現行の6%から5.6%に減率し、順次引下げを行い、2012年までに3.4%とすることとなった。

さらに、連邦学生ローンの拡大に備え、教育省は6月17日、連邦学生ローンに関するサービス業務について、民間企業4社と契約を締結したと発表した。これら4社が取り扱う連邦学生ローンは総額5,500億ドルとなっている。

<関連情報>

・アメリカ教育省

<http://www.ed.gov/news/pressreleases/2009/07/07012009.html>

<http://www.ed.gov/news/pressreleases/2009/06/06172009b.html>

・下院教育労働委員会

<http://edlabor.house.gov/newsroom/2009/06/starting-tomorrow-student-loan.shtml>

・New York Times

<http://www.nytimes.com/2009/06/30/education/30college.html>

●連邦政府奨学金申請制度の簡素化

オバマ政権は6月24日、連邦政府奨学金無料申請制度（Free Application for Federal Student Aid: FAFSA）の簡素化を行うことを発表した。現行のFAFSAでは、連邦政府奨学金申請を希望する学生はその申請手続きの中で、最高で153件もの質問事項に答える必要があり、その複雑さゆえに申請をあきらめてしまう学生が少なくなかった。このため、オバマ政権はFAFSAを簡素化することにより、中・低所得層学生の高等教育機関への入学を促進することを目指している。

具体的には、1月よりオンラインにおいてFAFSAによる連邦政府奨学金申請を行う際、納税申告所に記載されている納税申告内容を自動的に転載できるようにすることで手続きの簡素化を図るというものである。また、今後も預金、投資、資産などに関する質問事項26項目を削除すべく議会の承認を求める予定であるという。

<関連情報>

・アメリカ教育省

<http://www.ed.gov/news/pressreleases/2009/06/06242009.html>

・ US News and World Report

<http://www.usnews.com/articles/education/2009/06/25/financial-aid-form-gets-a-little-easier.html>

・ New York Times

<http://www.nytimes.com/2009/06/24/education/24fafsa.html>

● 「学術競争カグラント」の廃止

ジョージ・W・ブッシュ政権時に導入された低所得学生を対象とした能力ベース奨学金である学術競争カグラント (Academic Competitiveness Grants) は、2011 年の満期をもって終了となる可能性が高い。これを受けて、オバマ政権は学生の家庭財政事情に基づいたペル・グラント (Pell Grant) を中心とした大学生への学資援助を行っていくこととなる。

通常、奨学金プログラム終了の際には大学などからの反発があるが、今回はほとんど反発が起こっていない。これは同奨学金に関する事務作業が煩雑であったり、申請目標数がほとんど達成されていないなどしたため、同奨学金についてはもともと連邦議会の民主党・共和党双方から批判が噴出していた。

<関連情報>

・ The Chronicle of Higher Education

<http://chronicle.com/weekly/v55/i40/40a02301.htm>

● コミュニティカレッジへの支援

オバマ大統領は 7 月 14 日、コミュニティカレッジを対象とした 10 年間 120 億ドルの支援提供を提案した。これはコミュニティカレッジにおける学生退学率の減少を主な目的としたもので、同時に研究、教育、訓練の質的向上も目指したものとなっている。

<関連情報>

・ The Seattle Times

http://seattletimes.nwsourc.com/html/politics/2009466883_apusobamacollege.html

② 高等教育の現状

● 遠隔授業履修学生の本人確認に関する議論

昨年議会が再承認した高等教育機会法 (Higher Education Opportunity Act) では、教育機関に対し登録された学生と実際にその教育を受ける学生が同一人物であることを確認するプロセスを設けるよう定めていた。これをもとに、本人確認の手法に関する連邦規制の策定が行われていたが、ログインの安全性確保や試験のパスワード保護などの技術を用いることで、本人確認に必要なステップが取られているとする規制案が 5 月に発表されている。しかし、本人確認技術の売込みを狙う企業、学生活動の厳格な監視に懸念を示す大学側などの関係者の思惑が交錯したままとなっており、本人確認技術の進化等につれて再びこの問題が再燃することが考えられる。

<関連情報>

・ The Chronicle of Higher Education
<http://chronicle.com/free/v55/i39/39a01901.htm>

③ 大学運営

●大学の経済状況に関する調査結果

教育省が行った分析によれば、昨年度末の時点で、非営利の私立大学のうち 114 校が教育省の求める財務責任基準を満たしていなかったことが分かった。基準を満たさない大学は連邦政府奨学金の利用において政府からの監視を受けることとなり、さらに下位 65 校については、学生ローンや助成金保護の目的から、教育省に対して信用状の提出が義務付けられた。なお、過去には教育省の基準を満たさなかった大学のうち、5 校が廃校、統合、または営利企業への売却という憂き目にあっている。

<関連情報>

・ The Chronicle of Higher Education
<http://chronicle.com/weekly/v55/i39/39a02101.htm>

1-2. 主として州政府や個別の大学に関するもの

① 新聞報道等

●U. S. News による世界の大学ランキング：アジア中東編（1 位が東大、2 位が京大）
(U. S. News June 18, 2009)
<http://www.usnews.com/articles/education/worlds-best-colleges/2009/06/18/worlds-best-colleges-asian-and-middle-eastern-universities.html>

●カリフォルニア大学の教員は理事宛ての手紙にて財政危機への対応について厳しく非難
(SFGate June 19, 2009)
<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/06/19/MN731890UH.DTL&feed=rss.education>

●加州の財政削減によるサマースクールの中止の影響で生徒の安全確保に懸念
(CA Dept of Education June 19, 2009)
<http://www.cde.ca.gov/nr/ne/yr09/yr09rel94.asp>

●MIT 賞受賞者決定ーナノテクノロジー分野の Mirkin 教授に 50 万ドル授与
(MIT News June 24, 2009)
<http://web.mit.edu/newsoffice/2009/lemelson-0624.html>

●エール大学、マレーシアでの HIV 拡大対策についてマラヤ大学と提携
(Yale University Office of Public Affairs June 30, 2009)
<http://opa.yale.edu/news/article.aspx?id=6767>

- 大学の学費が高い7つの理由
(U. S. News July 1, 2009)
<http://www.usnews.com/blogs/professors-guide/2009/07/01/7-reasons-why-college-is-so-expensive.html>

- アメリカ政府の援助を得て奨学金を返済する方法
(U. S. News July 1, 2009)
<http://www.usnews.com/blogs/college-cash-101/2009/07/01/pay-off-your-student-loan-with-help-from-uncle-sam.html>

- 加州、政府の基金によりホームレスの学生支援へ
(CA Dept of Education July 1, 2009)
<http://www.cde.ca.gov/nr/ne/yr09/yr09rel99.asp>

- カリフォルニア州立大学の役員が5億8400万ドルの赤字について協議
(SFGate July 7, 2009)
<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/07/07/BADL18GM25.DTL&feed=rs.s.education>

- 「コミュニティーカレッジが米国の経済危機を救う重要なキーとなる。」—米国副大統領ジョセフ・バイデンの妻—
(The New York Times Education July 7, 2009)
<http://www.nytimes.com/2009/07/08/world/europe/08iht-biden.html?ref=education>

- 1年生体験コース参加に当たっての10のヒント
(U. S. News July 8, 2009)
<http://www.usnews.com/blogs/professors-guide/2009/07/08/10-tips-for-the-first-year-experience-course.html>

- 大学は夏期休暇中の仕事に学生を雇う
(U. S. News July 8, 2009)
<http://www.usnews.com/blogs/on-education/2009/07/08/colleges-hire-their-students-for-summer-jobs.html>

- 数百名のカリフォルニア大学の研究者が経費削減を厳しく非難
(SFGate July 8, 2009)
<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/07/08/MN6218KIRQ.DTL&feed=rs.s.education>

- 労働組合が、カリフォルニア大学の財務記録の開示拒否について告訴
(SFGate July 9, 2009)
<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/07/09/BABC18L43H.DTL&feed=rs.s.education>

- 学生寮のルームメイトの多様性は、偏見を減少させる
(U. S. News July 9, 2009)

<http://www.usnews.com/blogs/paper-trail/2009/07/09/dorm-room-diversity-can-promote-tolerance.html>

●カリフォルニア大学サンフランシスコ校の減給は医学部に悪影響を及ぼす
(SFGate July 10, 2009)

<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/07/10/BAEE18LF6T.DTL&feed=rss.education>

●カリフォルニア州立大学が、春セメスターの入学を受け付けない
(SFGate July 10, 2009)

<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/07/09/BAJS18LRG1.DTL&feed=rss.education>

●カリフォルニア大学の統括責任者は、財政危機への対処計画を提案
(UC Newsroom July 10, 2009)

<http://www.universityofcalifornia.edu/news/article/21485>

●カリフォルニア大学、職員のレイオフや職員の採用延期—加州からの補助金 8 億 1300 万ドルカット—

(The New York Times Education July 10, 2009)

http://www.nytimes.com/2009/07/11/education/11calif.html?_r=1&ref=education

●オバマ大統領の学生ローン策が国会で支持を集める

(The New York Times Education July 10, 2009)

<http://www.nytimes.com/2009/07/11/education/11educ.html?ref=education>

●博士課程の評価基準を初めて策定—米国学術研究会議—

(Inside Higher Edu July 10, 2009)

<http://www.insidehighered.com/news/2009/07/10/nrc>

●ウインconsin大学とテキサス大学、グーグルとの契約を延長—図書館蔵書のデジタル化—

(Inside Higher Edu July 10, 2009)

http://www.insidehighered.com/news/2009/07/10/qt/wisconsin_and_texas_expand_deals_with_google

●カリフォルニア大学の統括責任者は、「過酷な」経費削減計画を打ち出す

(SFGate July 11, 2009)

<http://www.sfgate.com/cgi-bin/article.cgi?f=/c/a/2009/07/11/BA5D18KG4E.DTL&feed=rss.education>

●オバマ大統領のコミュニティカレッジ強化策

(Inside Higher Edu July 13, 2009)

http://www.insidehighered.com/news/2009/07/13/qt/obama_sets_stage_for_community_college_plan

2. ドイツ

① 連邦教育研究省 (BMBF) の動向

● シャバーン大臣、3つの大型イニシアティブの継続に同意 (04 Jun 2009)

連邦教育研究省は、今回の大学協定、エクセレンスイニシアティブ、そして研究・イノベーション協定について合意された法案により、学術研究の国際競争力を強化する。2019年までに、約180億ユーロを計上し、27万5千の大学収容定員を確保すること、エクセレンスイニシアティブによって学生に確かな見通しを与えること、研究機関へ活動の裁量を与えることにより、将来に渡る発展を目指す。

BMBF HP プレス (<http://www.bmbf.de/press/2568.php>)

● 45大学、第2回女性教授プログラムで採択 (05 Jun 2009)

今回が第2回募集となる女性教授プログラム (Professorinnenprogramm) では、ドイツ全土から60の大学がこの公募に応じ、それぞれの構想を提出した結果、45大学の構想が採択となった。このプログラムは、2007年に連邦と州が共同で決議したものであり、大学における職業機会均等化のための持続的な構造を創設し、学術制度の上層において活躍する女性の数を高めようとするものである。採択された大学は、各大学で女性教授3人まで、最長で5年の期限付きポストを用意するための援助を申請できる。

BMBF HP プレス (<http://www.bmbf.de/press/2569.php>)

● 連邦教育研究省 (BMBF)、研究における機会均等を支援 (09 Jun 2009)

6月9日ベルリンにおいてシャバーン大臣は、「我が国における国際的競争力と未来を切り拓く力を保障するのは、機会均等に他ならない。我々は、聡明な女性のインパルス (衝撃・衝動) とアイデアとをみすみす手放すことはできない。」と述べた。「教育と研究における機会均等」と題した小冊子では、BMBFの機会均等に関する助成プログラムやプロジェクトについての情報を網羅的に提供する。学術制度における機会均等は、連邦政府の政治的目標である。BMBFは、大学や研究施設での職業キャリアのため、および起業の際の女性の機会に目標を定めて改善する。

機会均等のための重要プログラム一覧

- ・女性教授プログラム (Das Professorinnenprogramm)
- ・プロジェクト「女性をトップに」 (das Projekt Frauen an die Spitze)
- ・プログラム「女性起業家に力を」 (Das Aktionsprogramm Power für Gründerinnen)
- ・助言・情報提供の会 (Beratung und Informationsveranstaltungen)

BMBF HP プレス (<http://www.bmbf.de/press/2574.php>)

● ドイツ・中国の間の相互的な交流を強化 (10 Jun 2009)

「学術と教育におけるドイツ中国年2009/2010」にあたり、BMBFのシャバーン大臣が、6月10日から13日まで中国を訪れた。瀋陽において、職業教育会議および「ドイツ・中国一ともに動き出す (DuC)」の一連の催しであるドイツ・中国プロムナーデを開始した。このDuCへの連邦教育研究省の参加は、ドイツ・中国年にとっての重要な要素であり、ドイツと中国の連携協力を強化するための新たな行動を起こし、学術および教育におけるこれまでの二国間連携協力を、専門家の枠をも越えて、より顕著なものとする。

BMBF HPプレス (<http://www.bmbf.de/press/2578.php>)

●研究イニシアティヴ EUREKA (19 Jun 2009)

ドイツは6月19日に、ヨーロッパの研究イニシアティヴ EUREKA の議長職（一年任期）をポルトガルより引き継いだ。EUREKA は、1985年にドイツとフランスの主導で創設され、技術革新的なテーマに関する国境を越えた市場方向づけの連携協力のための枠組みを提供している。柔軟な多国間協力とボトムアップ方式による研究助成で知られ、今日では、ヨーロッパの37カ国とイスラエル、そして欧州委員会が参画している。1年交代で、参加国が議長職を引き受け、このイニシアティヴの政治的・戦略的な前進を調整する。EUREKA プロジェクトは、情報・コミュニケーション技術、生産技術、新素材、バイオテクノロジー、環境分野に重点を置いている。

BMBF HPプレス (<http://www.bmbf.de/press/2592.php>)

●ドイツの22大学、コンソーシアム設立 (23 Jun 2009)

ドイツ学術交流会 (DAAD) の先導のもと、ドイツ・トルコ大学 (DTU) の設立、運営、入学許可、財政など含めた学術的形態に関する調整を担うコンソーシアムが設立された。ドイツ側では、DTU の財政は、連邦教育研究省 (BMBF) によって賄われる。

2008年5月30日に、連邦教育研究省のシャバーン大臣は、連邦外務省のシュタインマイヤー外務大臣、トルコ外務省の Ali Babacan 外務大臣とともに共同で、「トルコにおけるドイツ・トルコ大学 (TDU) の設立に関する協定」に署名した。そして、ドイツ・トルコ双方の側から批准プロセスが締結されている。

BMBF HPプレス (<http://www.bmbf.de/press/2598.php>)

② ドイツ学術交流会 (DAAD) の動向

●発展途上国との連携におけるエクセレンス大学へ2千5百万ユーロ (09 Jun 2009)

ドイツの5大学と発展途上国の中のパートナー大学とが、連携構築のために、今後5年間でそれぞれ最大で5百万ユーロを支援される。ドイツ学術交流会 (DAAD) と連邦開発協力省 (BMZ: Bundesministerium für wirtschaftliche Zusammenarbeit und Entwicklung) は、このイニシアティヴで発展途上国との教育連携を強化する方針。

DAAD HP プレス

(<http://www.daad.de/portrait/presse/pressemitteilungen/2009/10766.de.html>)

●DAAD のイニシアティヴ (BIDS)、国外のドイツ人学生とドイツの大学のネットワークづくりを支援 (17 Jun 2009)

世界中に、アビトゥーア (大学入学資格試験) あるいはそれと同等の資格を付与する数百のドイツ学校 (deutsche Auslandsschulen) や語学資格試験学校 (Sprachdiplomschulen) がある。これらの学校の卒業生を、今より一層ドイツでの学業に熱中させるために、DAAD は「イニシアティヴ—ドイツ人学校とパートナー学校— (BIDS)」を創設した。このイニシアティヴは、奨学金の譲与 (委託) と同様に、外務省によるキャンペーン「学校、将来のパートナー」の重要な一部である。BIDS は、現在29のプロジェクトの中で、ドイツ学校とドイツ国内の56大学とのネットワークづくりを支援している。

DAAD HP プレス

(<http://www.daad.de/portrait/presse/pressemitteilungen/2009/10803.de.html>)

● 第4回ドイツ学術交流会 (DAAD) ネットワークミーティング (18 Jun 2009)

6月30日から7月1日までボンで開催された同ミーティングにおいて、DAADの専門家らが大学および研究機関の代表者らに国際化に関するアドバイスをを行った。国ごとの専門家らは、世界14カ国のDAAD在外事務所と49の情報センターから来ており、「南アフリカとの大学連携」、「インドネシアにおける大学マーケティング」、「南アメリカでの大学設立」といったテーマについて解説を行った。また、DAADの専門部局が、マーケティングサービス、ダブルディグリープログラム、EUの職業教育プログラムといった分野について国境をまたいでの情報提供を行った。

DAAD HP プレス

(<http://www.daad.de/portrait/presse/pressemitteilungen/2009/10815.de.html>)

③ ドイツ大学長会議 (HRK) の動向

● ドイツ大学長会議会長が学生ストライキに対して発言 (17 Jun 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2318.php)

● Thomas Kathöfer氏がドイツ学長会議の事務局長に (01 July 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2320.php)

● ドイツ大学長会議会長が公開討論にて大学改革の継続的発展について発言 (07 July 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2321.php)

● 共同作業による改革達成-大学と企業の代表者がポローニャプロセスの10年間の実績を評価 (08 July 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2322.php)

● ドイツ大学長会議会長がノルトラインヴェストファーレン州における人文科学系分野の状況に関する評価報告についてコメント (08 July 09)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2323.php)

④ その他大学等の動向

● BMBFの女性奨励プロジェクト便覧『教育・研究における機会均等』発刊 (15 Jun 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13301.1.html>)

● フラウンホーファー協会設立60周年 メルケル首相迎え年次総会開催 (23 Jun 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13325.1.html>)

● ドイツで学生がよりよい教育システムを訴えストライキ German students on strike (17 Jun 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/english/10.13333.1.html>)

● フェルンズブルグ専門大学がHIS (大学情報システム有限会社) と共同で、オンラ

- インでの入学願書受付システムを開発 FH Flensburg startet neues Online-Bewerberportal (15 Jun 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13292.1.html>)
- リンダウ・ノーベル賞受賞者会議 (化学分野) 6月28日 Chemie als Lösungsansatz für globale Herausforderungen (18 Jun 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13293.1.html>)
- ドイツ、日本のダブルマスタープログラム開始 (ハレ大学と慶応大学) Deutsch-japanisches Doppel-Master-Programm startet (21 Jun 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13309.1.html>)
- 新たにヘルムホルツ財団による研究機関が創設 Neues Helmholtz-Institut geplant (22.06.2009) (22 Jun 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13311.1.html>)
- 孔子学院がフライブルク大学へ Konfuzius-Institut kommt nach Freiburg (23 Jun 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13310.1.html>)
- 博士号仲介業者に対して禁固刑確定 Haftstrafe gegen "Promotionsvermittler" rechtskräftig (24 Jun 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13359.1.html>)
- エクセレンスイニシアチブプロジェクトにより、ベルリン自由大学がイスラムとその社会への影響に関する調査開始 Neue Exzellenzinitiative untersucht Islam (25 Jun 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13360.1.html>)
- 講師不足への対応 オンラインテストでの適正判断 Mit Selbsttests gegen Lehrermangel (28 Jun 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13363.1.html>)
- 認知症研究のナショナルセンターDZNEがボンで正式発足 (01 Jul 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13357.1.html>)
- デュイスブルク・エッセン大学、冬学期から80名に奨学金付与 奨学金の半分を州政府が負担、残り半分は自費で負担 80 staatlich-private Stipendien (01 Jul 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13379.1.html>)
- ドイツ初の「識字教育」マスター課程 2009/10年冬学期から開講 (03 Jul 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13389.1.html>)
- ポツダム大学がベルリン・ユダヤ博物館と学術協力協定締結 (07 Jul 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13390.1.html>)
- 大学の授業料用途状況に学生が厳しい評価 (08 Jul 09)

Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13425.1.html>)

● ドイツの大学 留学生からの人気根強く Deutschland beliebt (09 Jul 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13405.1.html>)

● 大学の授業料に対して憲法異議の訴えの姿勢 Verfassungsbeschwerde gegen
Studiengebühren geplant (10 Jul 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13419.1.html>)

● DFGサイエンスTV、好評につき「研究ビデオ日誌」第2弾リリース(11 Jul 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/japanese/10.13413.1.html>)

● 大学で働く研究者数増加 Mehr Personal an Hochschulen (13 Jul 09)
Study in Germany HP (<http://www.study-in-germany.de/german/10.13439.1.html>)

3. 英国

① ビジネス・イノベーション・技能省 (BIS) の動向

● 大学におけるオンライン遠隔教育システム普及のための対策本部を設置

6月23日、BISは、大学におけるオンラインによる遠隔教育システム普及のための新たな対策本部を設置すると発表した。主な内容は以下のとおり。

- ・本対策本部の構成員は、HEFCE（イングランド高等教育財政会議）、大英図書館、オープン・ユニバーシティ、ブリティッシュ・カウンシル、JISC（合同情報システム委員会）、英国大学協会、マイクロソフト社、アップル社等の代表からなる。
- ・大学での遠隔教育システム普及に必要な支援を行うことを目的に、新たに「オープン・ラーニング・イノベーション基金（Open Learning Innovation Fund）」をHEFCEに設置。
- ・HEFCE 拠出分の上限1千万ポンドを含む合計約2千万ポンドのマッチングファンドを構成し、遠隔教育促進のための大学間及び産学連携による協力事業を支援。

【BIS プレスリリース】

Universities set to go online for millions (23 June 2009)

<http://nds.coi.gov.uk/clientmicrosite/Content/Detail.aspx?ClientId=431&NewsAreaId=2&ReleaseID=403851&SubjectId=36>

● 大学理工系科目専攻に限定した入学者枠を新たに10,000人分追加

7月20日、BISは、今年の大学理工系科目（science, technology, engineering and maths (STEM) subjects）専攻の入学者を10,000人分追加するため、必要な財政支援を行うことを発表した。主な内容は以下のとおり。

- ・今回の措置は、経済不況の中、将来に向けた強い国づくりを目指して技能ある人材を育てることが目的で、今年の入学志願者の増加に対応するものでもある。
- ・今回、理工系専攻の全日制課程入学者に限定して、授業料を補う給費・貸与奨学金を含む修学費用を支援。（大学側に対する指導経費助成は行われない。）
- ・今年度措置済みの50億ポンド以上の学生支援関係予算に追加しての措置となる。
- ・本財源を捻出するために、既存予算の配分見直しを行う。その一環として、学生貸与奨学金の卒業後の返済猶予期間を現在の5年間から2年間に短縮する。

【BIS プレスリリース】

10,000 extra higher education places to help more students go to university this year (20 July 2009)

<http://nds.coi.gov.uk/content/Detail.aspx?NewsAreaId=2&ReleaseID=404961&SubjectId=2>

② イングランド高等教育財政会議 (HEFCE) の動向

● 高等教育機関の共通的問題解決のため、オープン・ユニバーシティに対し、780万ポンドの予算を新たに拠出

6月25日、HEFCEは、放送大学に対し、780万ポンドの予算を新たに拠出し、国内の大学での中途退学者の増加など、高等教育機関の共通的問題解決のための対策に乗り出すことを発表した。主な内容は以下のとおり。

- ・780万ポンドの予算はHEFCEのStrategic Development Fund (SDF) から拠出される。
- ・国内学生の修学率向上のため、オープン・ユニバーシティの柔軟な履修システムを連携

活用する。

- ・本拠出により、オープン・ユニバーシティ主導で、学生の修学率向上、遠隔教育サポートセンター、大学との連携といった3つの事業を支援。

【HEFCE プレスリリース】

£7.8 million grant for shared solutions to common problems in the higher education sector (25 June 2009)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/ou.htm>

【Strategic Development Fund (SDF)】

<http://www.hefce.ac.uk/finance/fundinghe/sdf/>

● 高等教育機関の知識移転活動が英国経済に与えた影響についての調査結果を発表

7月13日、HEFCEは、大学等高等教育関係機関が行った企業等への知識移転活動が英国の経済活動に与えた影響について、2007年度は総額約2.8兆ポンドの価値を生み出した、との調査結果を発表した。本調査結果はBIS、HEFCEなど英国の高等教育関係政府機関が合同でまとめたもので、主な内容は以下のとおり。

- ・1,977人の卒業生と41人の教職員の新規ビジネスの立ち上げを支援。
- ・スピン・オフ（会社の一部の分離独立）により、大学の知的財産に基づく219の新会社が設立。
- ・企業を設立し、3年以上継続した卒業生、教職員数がそれぞれ増加。

また、本調査結果は、企業や他の経済社会団体に直接与えた影響についても次のように述べている。

- ・高等教育機関から中小企業の問題解決につながる相談支援件数が、2007年度に25%（5,850万ポンド）増加。
- ・産学連携による長期を含めた共同研究の契約金額が増加。
- ・企業活動に必要な、大学所有の大型機器等の施設利用件数が2007年度に11.6%（約104百万ポンド）増加。
- ・経済不況における個人支援として、高等教育機関における継続専門教育活動収入が、2007年度に11%（537百万ポンド）増加。

【HEFCE プレスリリース】

Universities' support for the economy increasing in tougher times (13 July 2009)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/hebc1.htm>

【調査報告書（Higher Education - Business and Community Interaction Survey）】

http://www.hefce.ac.uk/pubs/hefce/2009/09_23/

③ 英国大学協会（UUK：Universities UK）の動向

● 今年の大学入学出願者数の増加を歓迎

7月9日、UUKは、UCAS（Universities and College Admissions Service—大学・カレッジ入学サービス）における大学入学出願者数が伸びていることを歓迎した。

今年6月30日現在、大学・カレッジへの入学出願者数は592,312人（女性332,006人、男性260,306人）となり、昨年（2008年）の同時点の出願者数540,108人（女性304,946人、男性235,162人）に比べ約9.7%、52,204人増（女性27,060人増、男性25,144人増）となった。

UUKは、本結果につき、この経済状況の中、生徒が高等教育の価値を認識し、関心を示していることの表れだと見ている。

【UUKプレスリリース】

Universities UK 'encouraged' by rise in application figures (9 July 2009)

[http://www.universitiesuk.ac.uk/Newsroom/Media-Releases/Pages/UniversitiesUK' encouraged' by rise in application figures.aspx](http://www.universitiesuk.ac.uk/Newsroom/Media-Releases/Pages/UniversitiesUK%27%20encouraged%20by%20rise%20in%20application%20figures.aspx)

【UCASプレスリリース】

Latest university application figures show 9.7% rise (9 July 2009)

http://www.ucas.ac.uk/website/news/media_releases/2009/2009-07-09

④ 英国の新聞等報道（2009年6月21日～7月20日）

●The TIMES

26 June 2009

就職難により 80,000 人の新卒者が失業者になる恐れあり

Jobs shortage 'will see 80,000 new graduates unemployed'

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6577116.ece

2 July 2009

奨学金やローンは据え置きなのに、授業料が上げられる予定

Tuition fees rise while student grants and loans are frozen

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6620288.ece

3 July 2009

不景気のため、卒業生で就職先を確保できている人が少なくなっている

Fewer graduates securing jobs in the recession

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/student/article6624351.ece

6 July 2009

卒業生が最も困難な就職試験に直面している

Graduates face the toughest tests

http://business.timesonline.co.uk/tol/business/career_and_jobs/graduate_management/article6633916.ece

9 July 2009

「無料の学位」を提案された学生（政府の経費削減のため、奨学金の受給権利を放棄すると授業料が免除になる制度の導入が検討されている）

Students to be offered 'no-fee degrees'

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/student/article6667191.ece

10 July 2009

入学出願者の急上昇により、大学の（受入れ先のない）ブラックホール部分が露呈した

University black hole exposed as applicants surge

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/student/article6673674.ece

16 July 2009

10,000 人もその大学における特別枠が新しいファンディングで期待される

10,000 extra university places expected in new funding boost

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6715464.ece

16 July 2009

卒業生の失業率が史上最高に達している

Graduate unemployment hits all time high

http://www.timesonline.co.uk/tol/life_and_style/education/article6716497.ece

●The Guardian

23 June 2009

あまりに多くのものが盛り込まれている－なぜ DIUS はその生涯を閉じなければならなかったのか?

There's quite a lot in a name

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jun/23/estelle-morris-dius>

23 June 2009

学長たちは授業料の値上げを求めている

Vice-chancellors call for tuition fees to be raised

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jun/23/vice-chancellors-call-higher-fees>

24 June 2009

大臣 (David Lammy 高等教育担当相) が芸術・人文学分野への支援を約束した

Minister pledges to promote arts and humanities degrees

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jun/24/arts-humanities-support>

24 June 2009

中退した学生たちが自宅で課程を修了できるよう支援を受ける制度が (オープン・ユニバーシティへの拠出を通じて) 実施される予定

Drop-out students get help to finish their degrees at home

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jun/24/drop-out-open-university-fund>

26 June 2009

潜在的な医師たちが多額の借金による負債で離れていってしまう－授業料の値上げが、低所得者層の医学部離れに拍車をかけている

Potential doctors put off by huge debts - Fewer people from low-income backgrounds applying as tuition fees set to rise,

<http://www.guardian.co.uk/society/2009/jun/26/medical-students-debt-low-income>

29 June 2009

(政府が財政支援を行わないと) 40,000 人もの勉学を希望する人たちが機会を失ってしまう
40,000 would-be students could miss out on places

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jun/29/university-places-under-supplied>

30 June 2009

大学の定員 : 学生の絞込みが迫っている－大臣たちは大学を景気問題からの出口にしようとしているが、果たして十分な定員が確保されているのか?

University places: Student squeeze looms - Ministers are promoting university as a route

out of recession – but are there enough places?

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jun/30/recession-university-places>

1 July 2009

昨年に比べて3分の1しか新卒者への求人が無い

A third fewer jobs are on offer for graduates

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/01/third-fewer-graduate-jobs>

1 July 2009

より貧しい学生と大学との溝が狭くなってきている

Poorer students narrow the university gap

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/01/poor-students-university>

6 July 2009

企業の新卒者採用枠の4分の1が消えてしまい、来年も同様との調査結果が出ている

Quarter of graduate vacancies vanish, and next year no better, says study

<http://www.guardian.co.uk/money/2009/jul/06/graduate-job-vacancies-employment-competition>

8 July 2009

自宅通学の学生は授業料が減免されるかもしれない

Tuition fees could be waived for students who stay at home

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/08/tuition-fees-waived-for-staying-home-proposal>

9 July 2009

大学の危機的状況が緊急の定員対策を加速させる-マンデルソン (BIS 大臣) が 10,000 人の学生に追加支援を行うことを検討

University crisis sparks emergency places plan

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/09/university-admissions-record-places>

9 July 2009

統計によると (入学志願者の増により) 50,000 近くの大学の定員が不足していることが分かった

Figures reveal shortfall of nearly 50,000 university places

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/09/university-places-shortage-recession>

14 July 2009

オックスフォード大学の学費が来年には3倍になるだろうと教員たちが警鐘を鳴らす

Oxford fees could treble next year, academics warn

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/14/oxford-fees-to-rise>

16 July 2009

6,000 人もの教員が一時解雇の危機に直面している、と大学連合はいう

6,000 lecturers facing redundancy, says universities union

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/16/lecturers-redundancy-recession>

16 July 2009

政府が追加の入学定員対策を行うことを発表

Government to announce thousands of extra university places

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/16/extra-university-places-recession>

16 July 2009

オックスブリッジ（オックスフォード大学とケンブリッジ大学）よりも就職に有利な大学がいくつかある

Some universities better than Oxbridge for job prospects - study

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/16/graduate-employment-figures>

16 July 2009

ゴードン・ブラウン（首相）が需要を呼び起こすため 10,000 人を大学に送り込むと宣言

Gordon Brown to provide 10,000 additional university places as demand rises

<http://www.guardian.co.uk/education/2009/jul/16/gordon-brown-promises-university-places>

●The Independent

20 July 2009

学生連合リーダーが、（政府の財政支援による追加入学者の）修学対象を（理工系科目に）限定していることに対し批判

Student leaders criticise student place restrictions

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/student-leaders-criticise-student-place-restrictions-1753527.html>

●Times Higher Education

23 June 2009

大学は、政府の遠隔教育施策実施に合わせて、必要な技術革新の可能性を模索する必要がある（デモス社出版書籍のレポート）

Technology revolution stops at classroom doors, report says – Demos says universities have yet to realise potential of technological innovations as Government launches drive to make the UK global leader in online learning

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407113&c=1>

25 June 2009

EU の中には、高等教育の流動性の原理を「無視」している加盟国がある—それらの国が大学のポストを域内他国に公募せず、市場を広げようとならないのは、英国の学者にとって不公平である

Academic mobility principle 'ignored' by some EU states – Members' failure to advertise community-wide is unfair to British scholars

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407106&c=1>

25 June 2009

英国の（高等教育の）外部評価制度は、各部門とも一定の水準を保つことが求められている
Outside looking in – The UK's external examiner system is supposed to uphold standards
across the sector

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407095&c=2>

2 July 2009

ビザ制度改正により、入国を拒否された外国学生の割合が急上昇し、英国が留学先から遠のいてしまっている（ウェストミンスター教育フォーラムセミナーでの発表）

Visa regime hurts UK as study destination – Rocketing refusal rates put off
international cohort, seminar hears

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=407200&c=1>

4. フランス

① フランス高等教育の動向

● 「フランスにおけるバカロレア合格者の同年代に対する比率」

1955 年以來、フランスではバカロレア合格者（大学入学資格者）の同年代に対する比率が 64%の周辺で停滞している。1983 年、Jean-Pierre Chevènement 氏は訪日して、日本の工場労働者のほとんどが大学卒業者であることに驚異して、翌年フランスの文部大臣に就任するや、バカロレア合格者の同年代に対する比率を 80%にすることを目標に掲げた。

1987 年、一般バカロレアに加えて、職業バカロレアが導入されて、前年より 26%増の 62.7%に上記の比率が上がったものの、2000 年は 62.8%、2007 年は 64%、2008 年は 63.6%に停滞している。

・フランス ル・モンド紙（2009 年 6 月 19 日号）

● 「一つのユーロキャンパスの誕生を目指して」

2009 年 6 月 18 日、ユーロレジオン ピレネー・メディテラネー（Eurorégion Pyrénées-Méditerranée）に属するフランスのミディ・ピレネー（Midi-Pyrénées）地方、ラングドック・ルシオン（Languedoc-Roussillon）地方、スペインのカタルーニャ（Catalogne）地方、バレアレス諸島（iles Baléares）の 4 つの地方議長が、パルマ・デ・マジョルカ（Palma de Majorque）で会議を行い、ミディ・ピレネーのマルタン・マルヴィー（Martin Malvy）議長が 4 つの地方でユーロキャンパスを創ることを提案し、他の議長も同意した。

これらの機関をネットワーク化することによって、このユーロキャンパスは 51,000 人の学生と、45,000 人の研究者、22 の大学、23 のその他の高等教育機関を擁し、世界で 7 番目に大きな大学キャンパスにすることを目指している。

・フランス ル・モンド紙（2009 年 6 月 27 日号）

・L' EXPRESS 誌 HP : <http://www.express.fr/>（2009 年 6 月 18 日）

・ミディ・ピレネー（Midi-Pyrénées）地方 HP : <http://www.midipyrenees.fr/>（2009 年 6 月 19 日）

5. 中国

① 中国政府の高等教育政策の動向

●施建軍氏が対外経済貿易大学学長に就任 教育部（2009.06.06）

6月5日、陳希教育部党組副書記・副部長は、対外経済貿易大学で同校の学長人事を公表し、施建軍氏が学長に就任することになった。施建軍氏のプロフィールは次のとおり。

施建軍、男性、1955年10月生まれ、1975年3月より勤務開始、2001年、アモイ大学経済学博士号を在職で取得、教授となる。1997年7月、南京大学副学長に就任。2005年4月より、南京大学常務副学長に就任。

<http://www.moe.edu.cn/edoas/website18/22/info1244246957548522.htm>

●陳希教育部副部長、米国メリーランド大学学長と会見 教育部（2009.06.09）

2009年6月8日、陳希教育部副部長は、米国メリーランド大学のムード学長と会見した。陳希副部長は、歓迎の意を表し、メリーランド大学の中国との教育交流、とりわけ全米ではじめて孔子学院を開設したことを高く評価し、ムード学長の中米教育交流に対する貢献を称えた。ムード学長は同大学と中国各大学、省・市との協力事業の現状を簡単に紹介し、今後の構想などを話した。双方はまた、今後どのように「中米人文交流と協力」を進めるかについて意見交換を行った。

<http://www.moe.edu.cn/edoas/website18/75/info1244536806306675.htm>

●教育部、人的資源・社会保障部が2009年全国大学卒業生就職ネットワーク連盟夏季採用週間を開催 教育部（2009.06.15）

大学卒業生により多くの就職情報を提供するため、教育部、人的資源・社会保障部は2009年6月20日から26日まで、合同で2009年全国大学卒業生就職ネットワーク連盟夏季採用週間を開催することとした。全国各地の教育や人的資源・社会保障部門は、その特長とリソースを活かし、採用情報などを収集、それを6月20日から26日の間に、全国大学生就職公共サービス(www.ncss.org.cn)、人的資源・社会保障部の人材市場公共ネット(www.chrm.gov.cn)、中国労働力市場ネット(www.lm.gov.cn)の3つのサイトに掲載する。各大学の就職情報サイト、省レベルの人材サイトや156の核心都市の労働力市場のサイトも今回の採用週間に参加する。各部門が総力を挙げて、卒業生に就職情報を提供する。

<http://www.moe.edu.cn/edoas/website18/35/info1245028062087135.htm>

●ハオ教育部副部長、フランス大統領大学教育・科学技術顧問と会見 教育部（2009.06.16）

6月11日、ハオ教育部副部長は、フランス大統領大学教育・科学技術顧問を務めるBernard BELLOC氏と会見した。双方は会見で、中仏両国のハイレベル人材やエンジニア育成における協力と交流事業について意見を交わし、現有のプロジェクトをこれからも推し進めること、両国の著名な大学同士や教育機構の協力をさらに推進、教育リソースの共有などで一致した。

<http://www.moe.edu.cn/edoas/website18/44/info1245136236987244.htm>

●ハオ教育部副部長、タイ教育部部長らと会見
教育部（2009.06.25）

6月24日、ハオ教育部副部長はアピシット首相と同時に中国を訪れているタイ教育部ジュリン部長らと会見し、両国の教育交流を進めることについて意見を交わした。その中でハオ教育部副部長は、1975年に中国とタイが国交正常化して以来、教育交流は両国の交流においてもっとも活発な分野のひとつであり、教育交流は両国の相互理解と友好を促進するのに重要な役割を果たしたと評価した。中国はこれからも両国の教育交流を進めていきたいと表明した。ハオ教育部副部長とジュリン部長は、温家宝総理、アピシット首相の立会いの下、「中華人民共和国教育部とタイ王国教育部との協力協定」に調印した。

<http://www.moe.edu.cn/edoas/website18/77/info1245922467529777.htm>

●周教育部長、中英教育部長サミットに出席
教育部（2009.06.26）

第4回中英教育部長サミットが24日、ロンドンのランカスター宮殿で行われ、双方は教育、科学研究における協力をさらに推進することについて議論した。中国教育部周済部長と、英国ビジネス・イノベーション・技術担当マクファーデン部長（大臣）は、両国の教育交流や協力について広く議論し、特に中英奨学金プロジェクト、高等教育における協力、大学生実習プロジェクト、学位の相互承認、文化や言語面での協力などを中心に議論を行った。

サミット終了後、両国は「中華人民共和国教育部とグレートブリテンおよび北アイルランド連合王国ビジネス・イノベーション・技術省との教育交流に関する共同声明」に調印した。

「両国の教育協力が開始して4つ目の共同声明である。中国人留学生にとってもっとも重要なのは両国とも学生の交流を奨励していることである。相手国で質の高い教育を受けられるように、両国は教育水準の保証の面でさらなる協力が必要だ」と共同声明に関して教育部国際協力・交流司の張司長は述べた。

<http://www.moe.edu.cn/edoas/website18/94/info1245974688413794.htm>

② 中国の主要大学の動向（主として大学のHPから）

●中山大学：「広東・香港高等教育提携」をテーマとする討論会が開催（2009.06.09）

6月5日、中山大学において「広東・香港高等教育提携」をテーマとする討論会が開催された。許副学長のほか、広東省委政策研究室、広東省政府発展研究センター、広東省香港・アモイ事務所、広東省教育庁及び香港特別行政区政府中央政策グループ、香港教育局などの機関から30名余りの代表が討論会に出席した。会議では、広東・香港の大学提携における現状と機会、問題と障害、そして広東・香港の大学提携におけるメリット、可能性に関して議論がなされた。

<http://news2.sysu.edu.cn/ShowArticle.aspx?ArticleID=7437>

●中国科学技術大学：EMBA教育を実施へ（2009.06.23）

中国科学技術大学をはじめ、32ヶ所の大学で、企業のエグゼクティブのための修士学位（EMBA）が設置される。各大学には厳格に、学生募集から管理までの努力が要求される。32ヶ所の大学の中、中国科学技術大学は中国科学院系及び安徽省において唯一の大学である。

http://news.ustc.edu.cn/zh_CN/?article=00019864

●清華大学：香港の青少年に国情教育を実施（2009.06.23）

6月17日、香港新世代文化協会による「清華大学：未来のリーダーに対する国情教育訓練2009」クラスの修了式が主楼において行われた。139名の香港の学生が研修を終えた。8日間の研修期間では、学生たちは政治、経済、外交、民族復興、そして中国共産党や香港における法律など一連の国家の情勢に関する講座を取ったほか、全国政治協商委員会と三つの警備団を訪問するなどさまざまな交流を行った。サイトツアーも実施された。

<http://news.tsinghua.edu.cn/new/news.php?id=20815>

●復旦大学：金融人材の育成モデルを構築、上海国際金融センターの建設を促進—上海証券取引所と提携へ（2009.06.24）

6月22日、上海証券取引所と復旦大学との調印式が開催された。双方は人材育成、科学研究協力、知的資源の享受といった提携内容で一致し、正式に提携関係を結んだ。上海証券取引所の張社長、復旦大学桂副学長ほかが参加した。

http://www.fudan.edu.cn/fudannews/news_content.php?channel=1&id=21858

●南開大学：ハイレベル人材の招へいに関する検討が行われる（2009.06.24）

6月23日、南開大学においてハイレベル人材の招へいに関する検討会が行われた。優秀な人材を招へいするためには、関連制度や政策を整備し、その上で任用及び待遇などの問題を解決する必要がある。いかに人材を引寄せ、引止めるかは非常に重要で、大学として人材を引寄せる力をいかにアップさせるかは大学の研究教育面における実力を上げるためにも不可欠である。

<http://news.nankai.edu.cn/zhxw/system/2009/06/24/000024464.shtml>

●「中国・モンゴル国家関係六十年：回顧と展望」国際学術シンポジウムが北京大学で開催（2009.06.25）

6月19日、北京大学外国語学院、北京大学アジア太平洋研究院、北京大学モンゴル学研究中心による「中国・モンゴル国家関係六十年：回顧と展望」国際学術シンポジウムが北京大学で開催された。中国とモンゴル双方は外交、経済貿易、文化、教育などの様々の領域から100名あまりの参加者があった。

http://pkunews.pku.edu.cn/xwzh/2009-06/25/content_151468.htm

●北京師範大学：国連高等教育交流の中国窓口プログラム認可される（2009.06.26）

近日、北京師範大学が先導し申請した中国窓口プログラム「Erasmus Mundus External Cooperation Window」が国連の審査にパスした。

「Erasmus Mundus External Cooperation Window」プログラムは国連による高等教育交流項目であり、各国における大学教師と学生の学術協力を支持するために設置されたもの。ヨーロッパと中国の大学における学術交流や提携を強め、国連は中国窓口プログラムを設立した。

<http://202.112.80.57:8080/bsd/wz/2009-06-26/7486.htm>

③メディア（インターネット）による報道

●中国人民大学：最新大学ランキングを公表し、その現実的な意義を表明（2009.06.16）

今年の春、新聞の報道により、大学ランキングを作成している武書連氏が大学の援助を受けていると報道され、大学ランキングへの疑義が明らかになったところだが、その一方で、最近中国人民大学高等教育研究センターはあるネットと協力し新しい大学ランキングを公表した。

中国人民大学高等教育研究センターの舒穎崗の話によると、現在国内一部の大学ランキングは「理系を重視し文系を軽視」、「規模を重視し構造を軽視」という傾向を示し、大学の教学レベルや質を公平に反映することができないという。これは大学の同一発展を助長すると共に、社会や受験生たちに中国大学に対する誤解を招くに違いない。

http://news.ifeng.com/mainland/200906/0616_17_1204154.shtml

●広東省政府：清華大学と全面的に産学研（生産、学術、研究）協力を展開（2009.06.23）

6月22日、広東省政府は、清華大学との全面的な協力に関する調印式を行った。協議は五年間続け、双方の協力は、戦略研究、科技協力、産業発展、人材育成などの面を含む。清華大学は、関連学術院の会員、専門家、学者、研究員をまとめ、広東省の科学技術、社会経済の中長期発展戦略、産業調整、イノベーション、重点プロジェクトの可能性などに対してアドバイス等を行う。

http://gaojiao.jyb.cn/gdjyxw/200906/t20090623_285188.html

●全国外国語学校科学研究協会が設立（2009.06.24）

近来、北京外国語大学は上海外国語大学などの14ヶ所の外国語大学と協力し、全国外国語学校科学研究協会を設立した。今回、外国語大学は、科学研究協会の成立を契機とし、外部とともに内部から外国語学科を発展し、革新の舞台を見つけ、外国語大学それ自身の持続可能な発展を実現しようとしたものである。

http://gaojiao.jyb.cn/gdjyxw/200906/t20090624_285391.html

●中国科学技術大学：「コピー」を防止のため大学院生の卒論を検査（2009.06.25）

卒業生の卒業論文の質を向上し、学術不正行為を防ぐため、中国科学技術大学は、2009年度卒業生の論文を審査する際、「学位論文学術不正行為検査システム」を利用した。このシステムは、「中国学術文献ネット出版総データベース」のデータベースを利用し、審査論文項目を入力すると、データベースに含まれた千万ほどの文献と照合し、統計分析報告を行う。このことにより偽造、剽窃、改竄などの不正行為をたやすく検査することができる。

http://gaojiao.jyb.cn/gdjyxw/200906/t20090625_285997.html

●上海交通大学医学院：19の専門診療センターを設立（2009.06.26）

25日に開かれた会議によると、上海交通大学医学院は本年初めから専門診療センターを設立し、いままでに19専門診療センターを設立した。2009年度全国学科ランキングによると、上海交通大学医学院は臨床医学分野において1位の座を保持している。

http://gaojiao.jyb.cn/gdjywxw/200906/t20090626_286128.html

●中国法学会は清華大学と提携—中国法学革新フォーラムを開催（2009.06.26）

26日、中国法学会は清華大学と協力し、「中国法学革新フォーラム」を開催した。「中国法学革新フォーラム」は、真の学術革新のための評価基準を確立し、法学界に学術向けプラットフォームを提供することを目的としている。また、革新フォーラムでは、講演の申し込み制度を通じて、真に創造力のある成果に権威承認を与え、中国法学革新に関する証明を行う仕組みを有している。

http://gaojiao.jyb.cn/gdjywxw/200906/t20090626_286069.html

●香港復帰から12年、大陸との教育交流・提携がますます深化（2009.06.29）

香港が祖国に戻って12年、中国大陸と香港の間には教育交流・提携がますます深化している。教育部など関連部門の指導のもと、大陸の大学、地方教育行政部門や機構では、香港、アモイ教育部門と多種多様な教育交流活動が開催されてきた。具体的には次のとおり。①胡錦濤主席による香港の若者への国民教育精神の徹底、特別行政区政府に対する有力な措置の採用、国民教育を促進すること②香港特別行政区政府教育行政部門が法律に従って政策を実施し、改革過程の問題解決に協力すること③香港と大陸における大学間の教育交流や提携を強化し、著名な研究者間の連絡を密にすること④香港における愛国・愛港団体の建設および発展を支持すること⑤代表的な交流プロジェクトを創設し、香港の教員・学生間の往来を盛んにすること⑥香港とアモイの学生募集と育成管理を積極的に実施すること。

http://www.jyb.cn/china/gnxw/200906/t20090629_286639.html

④メディア（新聞）による報道

●浙江省と教育部、浙江工業大学を共同設立
China Education Daily/中国教育報（2009.06.09）

浙江省と中国教育部は、6月9日、杭州で浙江工業大学共同設立に関する協定に調印した。同大学には、人材トレーニングセンターや重点学科、重点実験室などを設置し、浙江の大学教育の重点として、社会発展に役立つよう力を注ぐつもりである。

●清華大学：文系理系の壁を打ち破る学生募集
China Education Daily/中国教育報（2009.06.11）

清華大学では、ある一定の得点に達し、文系に関心のある理系の受験生と、ある一定の得点に達した、理系に興味のある文系の受験生が、違う系統への学科変更が可能になった。申請後、素養に関する面接などの試験を経て、批准されれば、文理それぞれ違う専攻変更ができる。2009年は、10人が受験し、そのうち4人の変更が認められた。

●教育部、国土資源部、吉林大学に地学部を共同設立
China Education Daily/中国教育報（2009.06.17）

教育部と国土資源部、吉林大学が地学部設立の調印が6月16日に行われた。吉林大学地学部は、中国国務院の「地質に関する強化の決定」により、地学の国の重点基地としての役割

を果たすことになる。石油・ガス・鉱物の観測のほか、地質災害、水質汚染、地価の探索を研究し、産業界との連携を図る。

●清華大学：「清華学堂人材養成計画」今秋からスタート
China Education Daily/中国教育報（2009.06.22）

清華大学は、今秋から大学本科生のための特別研修・育成計画をスタートさせる。特に優秀な学生を選抜、学術に造詣が深く、経験豊かで、国際的視野にたった指導陣のほか、海外からのエグゼクティブも講師に招く。

まず、数学、物理、力学、コンピュータゼミを編成し、ゼミ組織後は、多様な育成プログラムのほか、学生が自主的に選択できるよう教育体制を構築する。ディスカッションや探求型の学習形式で、交換留学、海外研修、サマースクールなどを催し、国際的で科学の最前線に立つ人材を育てる。

●北京師範大学：組織改変で教育学部を設立
China Education Daily/中国教育報（2009.06.29）

北京師範大学は、2006年の「十一五発展計画」に基づき、今年1月に教育学部発足会を開いたが、その骨格の大よそが完成段階に入った。

同校の教育学院、教育技術学院、教育管理學院、首都基礎教育学院などの複数の学院を基礎とし、教育学部を設置する。学部内には、6つの学院と研究所、8つの研究所、10の情報交換基地が設けられる。